

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幡多希望の家医療福祉センター（発達障害児）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会性を身につけるため、小集団での取り組みを粉う	社会性や協調性等を育てていく事を目的に、子ども同士で協力し合う活動であったり行なったことを人へ伝える練習等子供の成長発達に応じたプログラムを組んでいる	職員の専門性の更なる向上のため、県主催の研修やSSTの研修に参加していく
2	子どもの状態に応じたプログラムの提供	毎回、担当職員が児童に応じたプログラムを用意している 行ってみたいの振り返りを、職員間で話し合う その日の療育の状況は、保護者に伝え共有している	送迎が父母ではなく祖父母等になっているご家庭もある為、児童の様子をお伝えする工夫を行って行く
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の希望にこたえられない時がある	全ての利用に答えるだけの職員と場所が不足している	専門職員の育成と、場所の共有や地域の資源等も活用していく
2	SNS等での情報発信が出来ていない	年間4回は、機関紙を活用し施設全体の様子などの発信は出来ているがSNS等を使える職員が少ない	今後、情報を発信をどのような形で行って行くのか他部署とも検討していく
3			